

広げよう強いきずな 築こう強い組合 ～いのちを育てる協同の力～

ながめま

11

2025

No.381



観光・ホテル・外食農業展HOKKAIDO2025にて
「Vegin tomato」でながめま農協が出展！！

JAながめま青年部 収穫祭を開催!!



組合長挨拶

10月4日農協裏の北側駐車場にて収穫祭を開催しました。

開会に際して、柴田組合長は「青年部員が育てた野菜と長沼産の農作物が使われたフードを是非味わっていただきたい。」と挨拶し、広嶋実行委員長の開催宣言により収穫祭が始まりました。

青年部による新鮮な野菜の直売や詰め放題、豆腐販売のほか、今年は新たに縁日コーナーを設置。射的や輪投げで遊ぶと景品として野菜がもらえる仕組みで、小さなお子さまの笑顔があふれていました。

また、女性部は長沼産の作物をふんだんに使用した、豚汁と新米ごはんの販売、生活展を開催し、フレッシュミズ部会では、大豆を使用した「大豆測りゲーム」も行われました。

さらに、商工会青年部はJAながめま青年部とのコラボレーションによる「無水カレー」の販売を実施。こちらは、JAながめま青年部が育てたトマトやタマネギなどを使った一品で、多くの来場者に好評をいただきました。

当日は強い風が吹く中にもかかわらず、青年部が育てた、おいしく、新鮮な農産物やおいしい食べ物を求めて多くの方々にご来場いただき、終始にぎやかな一日となりました。



野菜直売の様子



詰め放題の様子



大豆測りゲームの様子 (フレッシュミズ)



豚汁販売の様子 (女性部)



射的の様子

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 樽井 功



昭和22年11月19日に農業協同組合法が公布されてから78年が経過しました。
戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織を通じて農業生産力の向上と農業者の地位向上を図り、国民経済の発展に寄与することを目的に制定されたこの法律により、農業協同組合が誕生しました。

農業協同組合は「農業者による農業者のための組織」として、自主・自立、民主的運営を基本に、相互扶助の精神のもと、組合員の営農と生活の安定、地域社会の発展に貢献してきました。
一方、現在、農業・農村を取り巻く環境は大きな変革期を迎えています。気候変動による猛暑や豪雨、円安による資材高騰、国際的な食料需給の不安定化などが農業経営に影響を与えています。

昨年、農政の憲法とも言われる食料・農業・農村基本法の改正により、国民一人一人の食料安全保障の確保と環境と調和のとれた食料システムが基本理念として位置付けられ、世界的な食料需給の不安定化による輸入リスクの増大、環境問題への対応など、日本の農政は大きな転換点を迎えています。
JAグループ北海道は、改正基本法に基づく農業構造転換対策の予算確保、食料安全保障の強化、持続可能な北海道農業の確立に向けて、組合員の声を国政に届ける活動

継続しています。

国連は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野で持続可能な開発目標(SDGs)に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、2025年を国際協同組合年に決めました。
この国際協同組合年を契機に、協同組合の力を再認識し、地域課題の解決と安心で豊かな未来の創造を目指しましょう。

最後になりますが、JAグループ北海道は、組合員との対話活動を一層強化し、協同組合の理念と精神を組織結集力につなげ、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

農協法公布記念日にあたっての 組合員・役職員の皆さんへのメッセージ

MOREベジットPR活動 あぐり王国北海道 NEXTにて 長沼産白菜を紹介

本年設立のMOREベジットPR活動の一環として、ピックルスコーポレーション及び北海道中央会の協力をいただき、この度あぐり王国北海道NEXTにて長沼産白菜を紹介いただきました。

10月25日(土)午後4時30分からの放送となりましたが、圃場での収穫から集荷場での保管状況や試食までの内容であり、試食では昨年酪農学園大学にも開発協力をいただいたなかで商品化し、大変好評をいただいたことから本年も期間限定で再販される「沼る浅漬」や長沼産白菜を原料とする「ごはんがススムキムチ」、また長沼産新米ゆめぴりかを試食いただきました。

番組には、製造元であるピックルスコーポレーションの方々にも出演いただき、生産者とともに「沼る浅漬」の商品化に係る経過や商品特徴についても説明いただきました。



酪農学園大学及びピックルスコーポレーションとの共同開発 「沼る浅漬」本年も再販

酪農学園大学及びピックルスコーポレーションとの共同開発により昨年8月に期間限定販売した「沼る浅漬」が大好評により本年も再販されました。

漬物需要減退への対策などをテーマに開発した商品ですが、昨年は約2週間で2千パックほどを売り上げました。

各メディアから取材や問い合わせを受けるなど大変好評をいただいたことから、本年は販売期間と取扱店を拡大し2万パックを超える販売実績となりました。特に販売店舗はピックルスコーポレーションの商品を取扱う道内量販店全社全店に拡大され、長沼産野菜としても大きな販売促進効果を得ることができました。



HTB秋の大感謝祭 イチモ二!農園ブー スに青果物を出展

本年、HTB朝の情報番組「イチモ二!」において、番組内企画である「イチモ二!農園」に7月から9月にかけて計4回当産地の青果物を題材に企画放送をいただきました。

その関連により、9月19日から21日までの3日目で開催された「HTB秋の大感謝祭」のイチモ二!農園ブースに当産地の青果物を出展させていただきました。

札幌ファクトリー会場のブースにおいて、来場者に簡単なクイズに答えていただき正解者にはカプセルトイによる抽選で長沼産野菜をプレゼントするという趣旨の企画であり、景品としてブロッコリー、玉ねぎ、にんにくを用意しそれぞれ予定数量を大幅に上回る大盛況により本企画を終えることができました。

また、同時にVegintomatoの試飲会も行い、特に海外からの来場者に絶賛をいただくなどこちらも大きな宣伝効果を得ることができました。



観光ホテル・外食産業展HOKKAIDO2025 Vegintomatoを出展

10月8〜9日、アクセスサッポロにおいて開催された商談イベント「観光・ホテル・外食産業展HOKKAIDO2025」に、昨年の完成以来徐々に認知度が高まりつつあるVegintomatoを出展しました。

本年9月1日〜10月31日の期間には、札幌ブランドホテルのラウンジバー「オールドサルーン1934」にて、中嶋夏鈴氏によるVegintomatoを使用したオリジナルカクテルが提供されており、今回はその展開とあわせた形での出展となりました。

当日は約4300名の来場があり、道内のホテルや飲食店関係者の方々からも高い評価をいただくなど、Vegintomatoへの関心の高さを感じる機会となりました。



グリーンパートナー 交流会開催

グリーンパートナー実行委員会は、9月20日（土）に第1回婚活交流会を札幌市内の居酒屋にて開催いたしました。

交流会では男性6名、女性5名の参加で和やかな雰囲気の中で食事をしながら会話を楽しみました。

最後にはカップリングを行い今回は1組のカップルが誕生しました。

今後も引き続き出会いの場の提供として交流会を開催して参ります。

第2回婚活交流会を11月29日（土）札幌市内ホテルにて開催いたします。興味がある方は是非ご参加ください。また、随時会員募集もしておりますのでお気軽に事務局までお問い合わせください。



販売部 令和7年産大豆受入開始

10月14日、令和7年産大豆受入を開始しました。

昨年より1日早いスタートとなり、「トヨムスメ」や「ユキホマレ」などの受入をし、仕分作業を行い、今年度は約3700tの受入を計画しています。

また、大豆の受入は10月下旬まで続き、1月下旬まで調製作業が行われます。



大豆受入風景



大豆の状態を念入りに調べる仕分け作業

小学生と大豆収穫・脱穀

10月14日、JA青年部農産プロジェクトは食育授業の一環として、長沼小学校にあるほ場で大豆の収穫・脱穀体験を行いました。今年6月に同ほ場で、は種した大豆「ユキホマレ」を収穫し、とうみや足踏み脱穀機、竹棒を使用し、脱穀とは何なのか、手作業のころはどのように行われていたのかを実際に手を動かして学んでいただきました。今回収穫した大豆は今後行われる食育授業で豆腐づくりに使用される予定です。



足踏み脱穀機で脱穀を行う様子

学校給食農産物贈呈式

10月16日、長沼町役場町長室において、学校給食用の新米ななつぼし500kg、新玉葱200kg、新じゃがいも200kgの贈呈式が行われました。

柴田組合長をはじめ真田玉ねぎ部会長、キタアカリ部会からは杉理事が出席し、代表して柴田組合長から齋藤町長へ日頃からの農業に対するご支援ご協力に感謝を申し上げ、農産物の生育や集荷状況について説明、また「猛暑の影響を多分に受けたものの今年も安全で美味しい米、玉ねぎ、じゃがいもが生産されたので学校給食を通じ児童や生徒の皆様にご賞味いただきたい」との言葉を述べ贈呈されました。

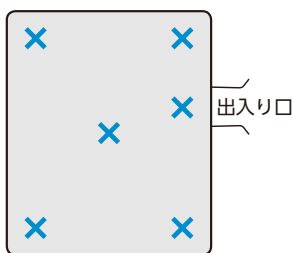
齋藤町長より「天候の偏りによって大変ご苦労された年となりました。生産者のご努力に心から敬意を表します。学校給食では年間通じて毎日約750食を提供している。現在お米は100%長沼産が使用されており、引き続き長沼町の教育振興への協力と農業発展をご祈念申し上げます」と謝辞をいただきました。



長沼町ジャガイモシストセンチュウ対策協議会 からのお知らせ 馬鈴しょ植付ほ場（販売用・自家用）の土壌自主検診について

長沼町ジャガイモシストセンチュウ対策協議会では、ジャガイモシストセンチュウ蔓延防止のため土壌検診を実施しております。ジャガイモシストセンチュウは根に寄生し養分を吸収するため密度が高くなると収穫量が減少し、大きな打撃を受けます。対策協議会ではジャガイモシストセンチュウの早期発見・蔓延防止のため、馬鈴しょ植付ほ場の土壌自主検診を実施しますので、左図を参考に土壌を採取し提出するようお願いいたします。

- 採取土壌は、ほ場の四隅、中央及び出入り口の6か所（×印の付近）から深さ10cmほど穴を掘り合計で1kg程度まで採取してください。



簡単なほ場図（共済の図面等）を同時に提出してください。

土壌採取に関するお問い合わせまたは提出先は
青果部青果課
（88-2228）までお願いします

4. 処理代金

農業用廃ビニール類	28円/kg (消費税別)
農業用廃プラスチック類	40円/kg (消費税別)

※取引口座(クミカン又は普通貯金)で支払いいただきます。

5. 助成金

- 長沼町より5円/kg以内の助成金が支給されます。(JAも長沼町と同額を助成。)
- 助成金の支払いは、2回目の回収が終了し、年間処理量が確定した後(12月頃)となります。

6. その他

- 経路におきましては、[経路図](#)をご確認のうえご走行をお願いいたします。
- ※積雪時は事故防止のため、タイヤチェーンなどの滑り止め装置やスタッドレスタイヤなどの雪路用タイヤの装着をお願い致します。
- ※運搬中は、路上への落下防止にご協力をお願い致します。

～ 廃ビ・廃プラ回収時注意点 ～

- 農業用廃ビニール・廃プラスチックの回収についてはリサイクル業者様のご協力をいただきながら取進めております。
- 近年、リサイクルする内容については環境規制の強化に伴い、処分場の取扱が厳しくなっており、例年であれば受入していたものも受け入れできないケースが発生しております。
- 農業者の皆様方には下記について十分確認していただき搬入いただきますようお願い致します。

～廃ビニール回収時注意点～

- ① 農ビについて
他のビニール類と処分先が異なるので農ビだけでハウスバンドでまとめる等をしてください。
- ② 農ビ以外のビニールについて
昨年より、フレコンでの受入が可能となりましたが農ビは同梱しない様にしてください。
また、廃プラに該当する処分品と同梱した場合は廃プラでの回収となります。(処理料金は廃プラスチック料金となります。)
- ③ ラップ類に牧草などが付着している場合は回収できません。

～廃プラスチック回収時注意点～

- ① 塩ビパイプなど長さがあるものは、1m以内に切り分けて下さい。
- ② 農業の容器類は必ずキャップを外して水洗いし、乾燥をしてください。
農業の瓶をすすいだ時の液体が付着していた場合は、回収できませんので容器内の液体残りや容器を入れたポリ袋内に液体が残らないようにご注意ください。
透明なビニール袋(穀殻用ポリ袋など)に入れ、マジックで氏名を記入してください。
容器が大きい場合は縦に切断(200ℓ容器等)のうえ、洗浄・乾燥をお願い致します。

搬出の内容によっては持ち帰りをお願いする場合がありますので皆様のご協力をお願い致します。

お問い合わせ先: ながめま農協 営農部 営農企画課 TEL 88-2226

令和7年度
第2回農業用廃プラスチックの回収について

農業用廃プラスチックの処理は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」において、産業廃棄物に指定されており、その処理は農業者自らの責任において適正に処理することが義務付けられています。

1. 受入日程

令和7年11月18日(火)～20日(木)

	ビニール類	プラスチック類	
	18日(火)	19日(水)	20日(木)
午 前	17区～31区・市街	25区～31区・市街	9区～16区
午 後	1区～16区	17区～24区	1区～8区

2. 受入場所・時間

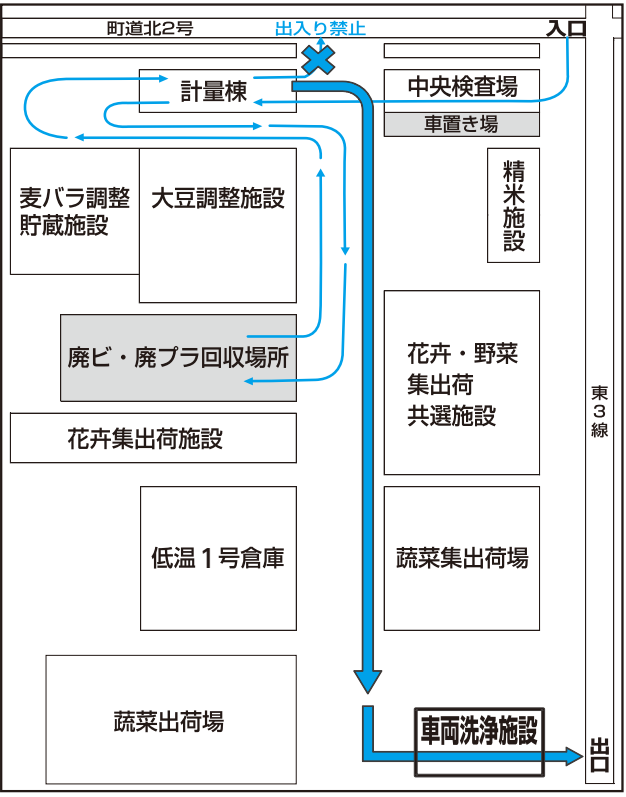
麦バラ調整施設構内(トラック1台毎に回収前と回収後に計2回計量)

- ビニール類／9:00～11:30、12:30～15:00
- プラスチック類／9:00～11:30、12:30～15:00

3. 回収物

農業用廃ビニール類	農ビ(農POを除く)(処分先が異なるのでハウスバンド等でまとめて分別して車両に積載して下さい。) 農ポリ・肥料袋・ラップ・マルチ・灌水チューブ(フレコンに同梱可) ※上記以外の物は受入できませんので充分注意願います
農業用廃プラスチック類	フレコン・農業容器(必ずキャップを外して水洗いをして乾燥させた状態)・ネット類・糸入りホース・ブルーシート・点滴チューブ・その他農業用廃プラスチック類
回収できない物	ゴム製品・ビン・金属類・ダンボール・木屑・一般家庭ゴミ・発泡スチロール・FRP(繊維強化プラスチック)・※苗箱

〈経路図〉



*予定利率は、金利情勢に応じて毎月1日に設定され、月末まで同一となります。
 ※ご契約される月によりお払込みいただく共済掛金が増減する場合があります。
 (元本回復期間も変動) なお、ご契約時の予定利率は、共済期間を通じて固定して適用されます。

ご加入できる年齢0～90歳

まとまった資金で一生の万全保障!

一時払終身共済 (平28.10)

予定利率

1.9%

【ご契約例】

加入年齢60歳 男性 一時払共済掛金100万円 予定利率1.9%の場合

死亡共済金額

1,359,063円

一時払共済掛金との差額は

+359,063円!

解約したときの
元本割れが心配...
という方
ご安心ください!

元本回復
期間

2年

POINT①

受取人を指定できるため、
残したい人に残したい額を、
確実に残せます!

POINT②

スムーズな死亡共済金のお支払いにより、
相続時の急な出費に
対応できます!

POINT③

加入は90歳まで幅広く、
お申し込みは、
簡単な告知のみ!

■予定利率とは、共済掛金積立金(将来の共済金等をお支払いするために、共済掛金の中から積み立てられているお金)を運用する際に適用されるあらかじめ定められた利率をいいます。■現在の共済掛金については、右記QRコードリンク先の「掛金シミュレーション」にてご確認ください。■お近くのJAにお問い合わせください。■解約時の返戻金はお払込みいただいた共済掛金の額が限度となります。また、早期にご解約される場合、お払込みいただいた共済掛金を下回ることがあります。■元本回復期間は、共済掛金と各共済年度末日の解約返戻金と比較して、共済掛金と同額になる年数のことです。■この資料は概要を説明したものです。詳細につきましては「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。

一時払終身共済 (平28.10) の
仕組みについて詳しく知りたい方、
資料請求をご希望の方はこちら⇒



お問い合わせは

JAながぬま 金融部 共済課 TEL 0123-88-2225

[25019990030]

まとまった資金の置き場所に 共済を活用してみませんか?

家族のために「そなえる」編

1 自分が万一の時、家族が困らないように準備しておくか!

2 お前達の為に残しておいたぞ... 息子 娘

3 さて、どうやってわけよう? 遺産

4 仲の良かった息子と娘が遺産分割で争うことに...

5 さらに口座が凍結し、お金も自由に引き出せないことも...

6 納税資金が準備できないことも...

7 お金の置き場所を変えてみましょう

どうすれば良かったんだろう?

共済 預貯金



相続税のことを
もっと知りたい方へ

「知っておきたい
相続税の基礎知識
について」

詳しくはこちら⇒



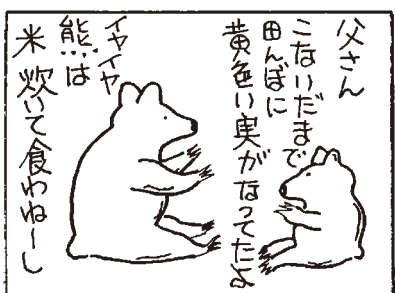
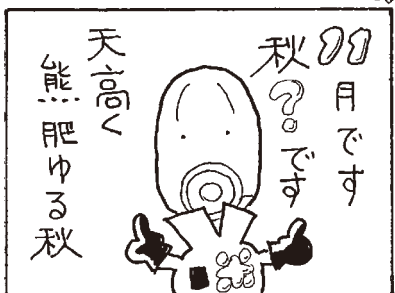
「聞かせて!」
くらしのこと
アンケートキャンペーン

簡単なアンケートに答えるだけで
豪華賞品が当たるチャンス!

応募はこちら▲



お金の置き場所は 一時払終身共済 (平 28.10)



資材センターより

コンバイン刈刃格納研磨のお知らせ

稲刈りが終わったら、来年に備えて刃を研ぎませんか？
冬の内に丁寧な仕事をして十分錆止めをして保管いたします。

《特典》

1. 工賃 **15%** 引き
2. 来年の6月迄お預りします
3. お支払いは来年の7月下旬です
4. 格納研磨の受付期限は12月末日です

研磨工賃(税込)

	従来品	新型(Wアクション)
2条刈	5,500円	—
3条刈	7,700円	11,000円
4条刈	9,900円	13,200円
5条刈	—	15,400円
6条刈	—	18,700円

JAながぬま

- 本所資材センター TEL88-2407
- 北長沼支所 TEL89-2034

各団体等における口座振替・引き落としについて

日頃より、金融事業に対しましてご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、金融窓口のご案内になりますが、12月は来店者や取引件数が増加し
窓口が混雑することなどから、口座振替や引落としについてはご希望日よりも
前にお手続きいただけますようご協力をお願い致します。

お問い合わせ 金融部 貯金課・融資課 TEL 88-2224

経営継承に係る税務研修会の開催について

■令和7年度経営継承に係る税務研修会

- 開催日時 令和7年11月18日(火) 午後2時00分(1時間30分程度を予定)
- 開催場所 ながぬま農業協同組合 本所 第1会議室
- 講師 税理士法人 松井一晃事務所 所属税理士 安部 勉 様

～ テーマ ～

農業経営継承への準備と継承後発生する税金関係等について(仮)

参加希望者は経営相談課までお問い合わせ願います。

お問い合わせ 金融部 経営相談課 TEL 0123-88-2229

11月は、労働保険未手続事業一掃強化期間です！

事業主の皆さん。労働保険の加入はお済みですか。

労働保険に加入して、従業員の方々が安心して働ける職場にしましょう。

労働保険とは、労災保険と雇用保険の総称で、労働者の生活の安定、福祉の増進等を図ることを目的に、国が直接管理運営している保険です。農林水産業の一部を除き、労働者を一人でも雇用する事業については、法人・個人を問わず加入が義務づけられています。

問い合わせ先：厚生労働省北海道労働局総務部労働保険徴収課

(TEL 011-709-2311 内線3635)

または最寄りの労働基準監督署・公共職業安定所（ハローワーク）

お詫びと訂正

10月号14ページに掲載致しました土壌診断を活用した適正施肥の推進について、実施期間を令和7年度1カ年と表記しておりましたが、令和7年度から令和9年度の3カ年で訂正となることをお詫び申し上げます。

お問合せ先 営農部 営農企画課 TEL0123-88-2226

理事会報告－第11回－

《令和7年10月21日開催》

〔議案〕

- 議案第1号 第2四半期自治監査講評について
- 議案第2号 理事との契約承認について
- 議案第3号 令和7年度施設利用料の設定について
- 議案第4号 組合員の出資減口について
- 議案第5号 「当組合における取引のリスク評価書」について
- 議案第6号 令和7年7月期ディスクロージャー誌（半期開示）の縦覧について
- 議案第7号 令和7年度地区懇談会の開催日程について

〔報告事項〕

1. 会議行事報告について
2. 組合員の加入及び脱退の状況について
3. 利益相反取引の実行報告について
4. 主要農産物の生育状況について
5. 令和7年産 米受入状況について
6. 野菜・花き市況等について
7. 内部監査報告について
8. その他

以上、すべての議案について審議し原案どおり承認されました。



農協の動き 9/10～10/21

9月	10日	ながぬま農協年金友の会ゲートボール大会	於 長沼町内ゲートボール場
	11日	避難訓練	於 資材センター
	12日	避難訓練	於 本所事務所・Aコープ
	13～14日	姉妹都市長沼町物産展	於 岩手県奥州市
	14日	長沼神社例大祭	於 長 沼 神 社
	16～17日	新任常勤理事研修	於 JAカレッジ
	18日	長沼町表彰審議委員会	於 役 場
	19日	旗の波街頭啓発	於 役 場
	19日	子実用とうもろこし研究会現地研修会	於 生産者圃場
	20日	グリーンパートナー交流会	於 札 幌 市
10月	25日	無通告監査（子会社）	於 農 協
	30日	MOREベジット玉ねぎ部会消費流通懇談会	於 農 協
	3日	麦・大豆生産流通協議会 大豆委員会	於 農 協
	3日	粃バラ施設運営協議会・自主検定委員会	於 農 協
	4日	青年部収穫祭	於 農 協
	9日	空知管内農協組合長会議	於 空知農業会館
	9～10日	内部監査（個人情報保護・情報セキュリティ）	於 各 部 署
	12日	長沼町総合防災訓練	於 り っ ぽ
	14日	麦バラ施設 大豆受入開始	於 麦バラ施設
	16日	学校給食農産物贈呈	於 役 場
	20日	種子馬鈴しょ共選場操業開始	於 共 選 場
	20日	FAMO長沼採用辞令交付	於 農 協
	21日	監事会	於 農 協
	21日	理事会	於 農 協

「売れる」ヒントをお届け!



購読料 1カ月 (税込み) 本 紙 2,980円 電子版 2,403円

●購読のお申し込みはJAへ

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
https://www.agrnews.co.jp
知る、活かす、つなぐ～JAグループ情報共有運動

2025年11月号 No.381

ながぬま

JAながぬま 広報誌

〒069-1393
夕張郡長沼町銀座北1丁目5番19号
発行／ながぬま農業協同組合営農部営農企画課
TEL 0123-88-2226 FAX 0123-88-4113
URL <http://www.ja-naganuma.or.jp>

今月の組合員数

組 合 員 1,479名(±0)
正 組 合 員 771名(－4)
准 組 合 員 708名(+4)
正組合員戸数 586戸(－3)
※括弧内は前月比